



FORRESTER®

## オープンソース技術の価値をフルに活用する

信頼できるパートナーの活用により、ビジネス・リスクの低減や作業時間の削減など企業におけるIT運用保守の総合的なサポートを実現

開始



## オープンソースが主流になる

オープンソース技術は、今日の企業の技術戦略にとって重要な部分を占めています。Forresterの調査によれば、企業の90%は2種類以上のオープンソース技術を使用していることがわかりました。しかしながら、とりわけ進化するビジネス需要と顧客の要件を考えると、オープンソースに課題がないわけではありません。多種多様なオープンソース技術に依存するとなると、サポートの強化がより必要になります。

従来、オープンソースユーザーは、そのサポートを、ピアツーピアのコミュニティや商用版に頼っていました。こういったサポートオプションは、単一のオープンソース技術のベストプラクティスやリアルタイムの問題解決を支援しますが、多くの課題は複数のオープンソース技術に広がっています。大半の企業は、より全体的なサポートモデルを必要としますが、Forresterの調査によれば、企業の53%はオープンソース技術用のベンダーサポートサービスが利用できることを知らないということがわかりました。

## 主な調査結果



企業の55%は、5種類以上のオープンソースソフトウェアやフレームワークを使用しています。



企業は総合的なサポートモデルで大規模なオープンソース採用の可能性をフルに解放する必要がありますが、53%はオープンソース技術用のベンダーサポートサービスが利用可能であることさえ知りません。



企業は開発・テストおよび本番の両方でオープンソース技術のコミュニティ版と商用版を組み合わせ使用しています。

## オープンソース技術は企業に必要不可欠

オープンソース技術が主流になる今日のオープンソースユーザーは、重要性の低いシステムに対してオープンソースを使ってみたり、単一の技術だけにとどまるというようなことはしません。Forresterの調査によれば、一般的に、企業の90%は2種類以上のオープンソース技術を使用し、55%は5種類以上を使用していることがわかりました。最も多い使用法は、クラウドプラットフォームとインフラストラクチャの自動化、データベース、開発プラットフォームとコンテナのオーケストレーションです。

しかしながら、今日のオープンソースユーザーには支援が必要です。オープンソース技術が企業全体で活用されているにも関わらず、自らをオープンソース技術の優れたユーザーだと考えているのはわずか26%です。優れたユーザーは、多数のソフトウェアにまたがって会社全体で戦略的に使用しています。残りの74%は自らを優れたユーザー、平均的なユーザー、または平均以下のユーザーと考えています。改善には、スキルと知識のギャップを埋めるサポートサービスが必要です。

「以下のオープンソースソフトウェアツールやフレームワークのうち、あなたのチームが現在使用しているのはどれですか？」

(該当するものをすべて選択して下さい)

企業の90%は2種類以上のオープンソース技術を使用している



企業の55%は5種類以上のオープンソース技術を使用している



## 企業は本番やテストにコミュニティ版と商用版の両者を使用

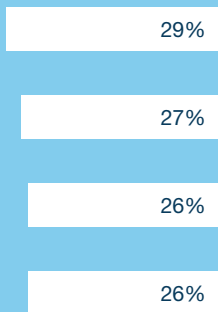
オープンソースユーザーは、特定のサポート形態を知らないわけではありません。企業は長い間オープンソース技術の商用版を利用してきました。企業の調査回答者は、コミュニティ版を最大限に活用しているだけでなく、より堅牢な商用版も利用しています。Forresterの調査によれば、その利用は開発・テストにとどまらず、本番にまで拡大していることがわかりました。コミュニティ版と商用版を本番と開発・テスト環境に使用することで、企業はリアルタイムで問題を解決し、開始時からベストプラクティスを使用し、パブリッククラウド環境とプライベートクラウド環境の橋渡しができます。



企業の調査回答者の57%はオープンソースサポートにコミュニティを利用しています。

「現在使用しているオープンソース技術は、コミュニティ版ですか、商用版ですか。」

● コミュニティ版と商用版の両方



アプリケーションの定義とイメージの構築

45%

アプリケーションフレームワーク

45%

アプリケーションサーバー

31%

SCMツール

28%

「以下のオープンソース技術を本番と開発・テスト、またはその両方を使用していますか。」

● 開発・テストおよび本番の両方

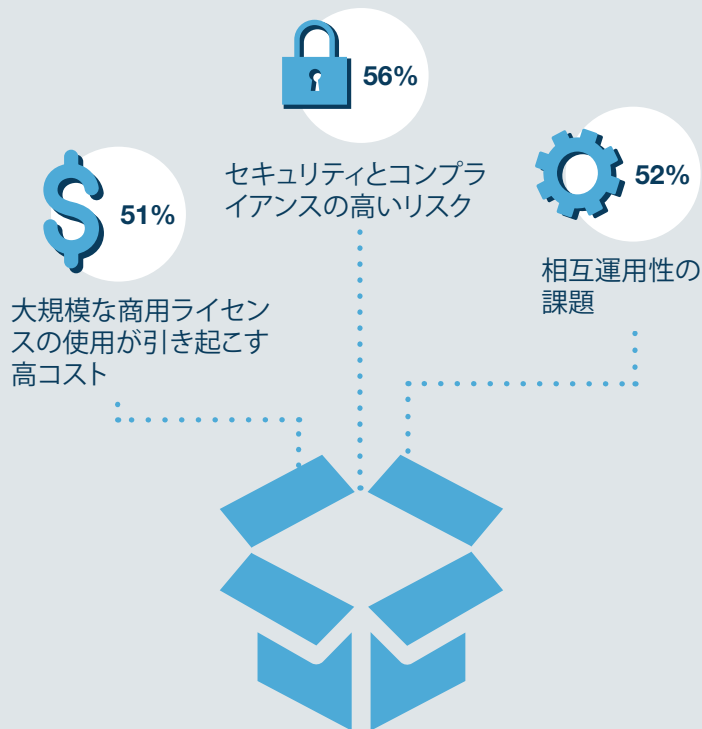
## 企業はリスクを低下させ、時間を短縮させる課題で苦労している

企業は多数のオープンソース技術を活用しているため、単一技術を使用した場合以上に、最適化の課題があります。課題はオープンソースエコシステムに広がっています。オープンソースの一番大きな課題について企業全体で考えると、セキュリティとコンプライアンスリスク、相互運用性、商用ライセンスを大規模に使用した場合の高コストといった問題が最も厳しいと感じています。

こういった課題の多くは、単一技術からの課題ではなく、プロジェクトが交差するところで発生します。これを解決するため、企業は特定の1つのオープンソースサポートモデルを重視するパートナーではなく、オープンソース技術を橋渡しするパートナーを利用したいと考えています。

## 「オープンソース技術を使用するとき直面するサポート課題は何ですか。」

(上位3件を表示)



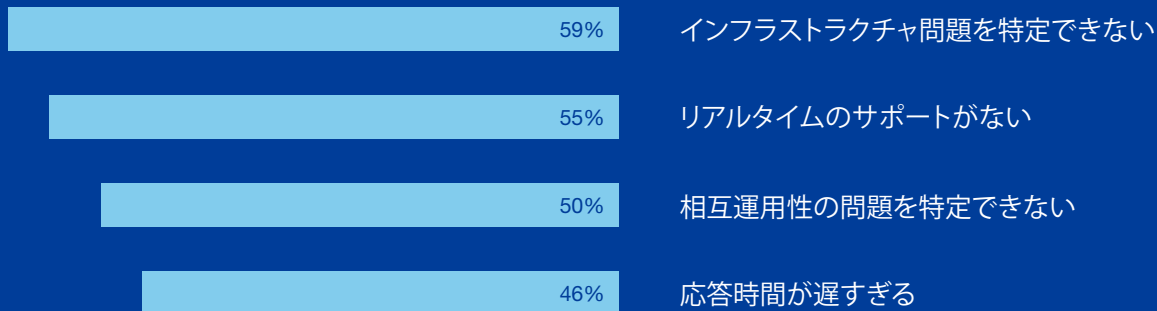
## ピアツーピアコミュニティは総合的なサポートを提供できない

オープンソースは、長い間コミュニティベースのサポートに根差してきており、ユーザーは今でもそれを多用しています。しかしながら、オープンソース技術の使用にはこれまでよりも柔軟で相互運用性のあるエコシステムが必要です。Forresterの調査によれば、決められた時間内に解決できるソリューションを導入し、相互運用性とインフラストラクチャの問題を特定する必要があることがわかります。

ピアツーピアコミュニティは、オープンソース技術をつなぐ総合的なサポートを提供できません。ベンダーサポートパートナーは、開発を加速し、効率を向上させ、リスクを軽減する一層総合的なサポートプログラムを提供しています。しかしながら、Forresterの調査によると、企業の半分以上(53%)はオープンソース技術用のベンダーサポートサービスが利用できることさえ知らないことがわかりました。

「ピアツーピアコミュニティを唯一のサポートオプションとして利用する場合、足りないのはどの部分ですか？」

(該当するものをすべて選択して下さい)



## オープンソース技術から望むメリットを得る

企業の調査回答者は、主要課題を処理できればオープンソース技術が提供できるようになる重大な価値を認識しています。企業が求めている最も重要なメリットは、先ほど調査で見た最大の課題を映し出しています。

オープンソース技術をつないで統合するサポートモデルを活用すれば、企業にはセキュリティの向上、より優れた統合、より素早い開発といった望ましいメリットが提供されます。



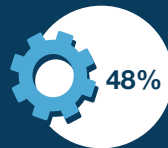
**36%は、技術に遅れずについていくことがオープンソース技術の課題をクリアする鍵であると述べました。**

「オープンソース技術の価値を最大限に引き出すために、先ほど挙げた課題をクリアすることの最も貴重なメリットは何ですか？」

(該当するものをすべて選択して下さい)



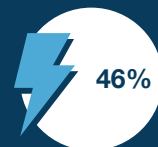
セキュリティとコンプライアンスのリスクの低下



相互運用性の向上



プロジェクトとオープンソース技術とのより優れた統合



より早い開発

## 企業はオープンソース技術の可能性を最大限に活用できるサポートを必要としている

オープンソース技術は、同じような考えを持った仲間と迅速にイノベーションを開発するエコシステムを提供することにより、企業のデジタル変革を加速することができます。しかしながらオープンソースを上手く活用して顧客を獲得し、サービスを提供し、満足いただくためには、品質と性能にある程度のレベルが期待されます。企業の調査回答者によると、サポートの主なニーズは、他のオープンソースや企業ソフトウェアとの統合、パッチや修正プログラムに関する事前通知、より安価なコミュニティ版への切り替え、脆弱性のレポートによるセキュリティの向上です。単一オープンソースカテゴリのスペシャリストはこういった需要をある程度は達成できますが、統合やコミュニティ版で期待される性能を上手く提供することは複雑なソフトウェアスタック全体をサポートできる人材がこなすものです。

### 「あなたの企業にとって最も多くの価値を生み出すオープンソースサポートサービスは何ですか？」

他の企業ソリューションやオープンソース技術との統合

43%

パッチや修正プログラムの事前通知

40%

コミュニティ版への切り替えによるコスト削減

39%

脆弱性レポート

37%



## まとめ

企業はますます開発スピードを加速し、効率を向上させ、複雑なビジネスケースを検証して解決する必要があります。ベンダーサポートパートナーは、リアルタイムの問題解決とベストプラクティスを提供し、企業がパブリッククラウド環境とプライベートクラウド環境をつなぎ、この成長するオープンインフラストラクチャをサポートするという複雑性をクリアして取り組めるようにすることで重要な役割を果たします。しかしながら、企業の53%はオープンソース技術専用のベンダーサポートサービスの存在すら知らないことがわかりました。

オープンソース採用の最大の推進力は、急速に成長する革新コミュニティです。ベンダーサポートパートナーは、社内スキルが一時的である、または維持が難しいと思われるときに最高の専門知識を提供してスキルと知識のギャップを埋めることができます。最適化や革新の課題を克服するためにベンダーサポートパートナーを活用すれば、企業は現代ビジネスの需要や顧客の要件に確実に対応できるようになります。

### プロジェクト総括責任者:

Sarah Brinks、Market Impact Consultant

### リサーチ貢献者:

Forrester社インフラストラクチャおよび運用リサーチグループ

## 調査手法

この「OPPORTUNITY SNAPSHOT」はIBMから委託による調査レポートです。このプロファイルを作成するために、Forrester Consultingはオープンソース開発者、意思決定者、マネージャーに対しカスタム調査アンケートで調査を実施しました。この調査は2019年9月に実施しました。

### 課題の解決方法についての詳細：

<http://ibm.biz/OSS-Solved-JP>

#### Forrester Consultingについて

Forrester Consultingは企業のリーダーがその企業を成功に導けるよう、独自の客観的調査に基づくコンサルティングを提供しています。お客様はそれぞれの事業課題に最適な専門知識と経験を有するリサーチアナリストを通じて、短期の戦略セッションからカスタムメイドのプロジェクトまで、Forrester Consultingのサービスを利用することができます。詳細については、forrester.com/consultingをご覧ください。

© 2019, Forrester Research, Inc. All rights reserved. 無断複製厳禁。本書の内容は、入手可能で最適な情報源に基づいています。ここに記した見解はその時点でのものであり、最新の情報とは異なる場合があります。Forrester®, Technographics®, Forrester Wave, RoleView, TechRadar, および Total Economic Impact® は Forrester Research, Inc. の商標です。その他の商標の所有権は各社に帰属します。詳細については、forrester.com をご覧ください。[E-44746]

## 人口統計

### 地理

28% 北米

37% 欧州

35% APAC

### 企業規模 (従業員数)

28% 従業員500~999人

44% 従業員1,000~4,999人

21% 従業員5,000~19,999人

7% 従業員20,000人超

### 業種

20% テクノロジー

10% 小売

8% テレコミュニケーション

62% その他の業種

### 役職

29% 幹部レベル

8% 副社長

63% 上級IT意思決定者



FORRESTER®